

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2015年7月定例会議議事録

- ◎ 開催期日：2015年7月16日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	岩本	真司
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	JRDA	有原	義則
	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨
	DANジャパン	小島	朗子

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① JRDA「第1回事故ゼロ推進委員会」報告

- JRDA有原氏から、別添「第1回レジャーダイビング事故ゼロ推進委員会」会議議事録に沿って、同会議の出席者、議事進行状況の説明があり、静岡県ダイバーズ協議会渡辺氏・我妻氏、潜水医学情報ネットワーク野澤氏、Cカード協議会宗田のそれぞれの同会議報告内容の概略が説明された。
- C協事務局宗田より、別添のJRDA「レジャーダイビング調査アンケート」について、同データは2015年7月（半月分）のデータであり、アンケートの統計からアンケートの設問に乖離無く業務を遂行しているダイビングショップが、プラスの意味で浮き彫りになることが説明された。

② ガイド付きFUNダイブの顧客受け入れ条件について

- 6月定例会において、ガイド付きFUNダイブの定義について検討することが予定されたことを受け、事務局宗田より添付資料の「ガイド付きFUNダイビング参加者のスクリーニングについて」が提出された。（詳細は別添「ガイド付きFUNダイビング参加者のスクリーニングについて」を参照）
- 同添付資料の説明後、同提案内容について出席者の審議が行われた結果、JRDA及びC協連盟で同提案内容を提言することが決められた。
- 提言の具体的な方法は、今後検討していくことになった。

③ その他

- JRDA有原氏より、JRDAに一般ユーザーより寄せられる昨今の質問に、「ダイビングはどうしたら始められるか」「ダイビングインストラクターになるにはどうしたらよいか」、「ダイビングショップを立ち上げるにはどうしたらよいか」等があり、これらの回答の目安になるコンテンツをC協HPに掲載して欲しいとの要望があった。
- 出席者の審議の結果、今後C協HP内に同様のコンテンツを掲載していく方針が決められた。
- DAN小島氏より、DAN会報誌59号に新しいDDネットが掲載されたとの案内があった。

以上